

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①効果的な学習活動・進路活動を実践できるような教育課程を編成する。 ②生徒が主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした授業を実践し、生涯とおして学び続ける資質・能力の育成を行う。	①学習指導と評価の一体化を進めることで多様なニーズに応える教育課程の編成のための基礎を作る。 ②・基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力を育てるための生徒の家庭学習の定着を図る。	①事故のない成績処理と学習指導と評価の一体化を進めるにあたり、10段階評価を廃止する。 ②授業において多様な意見を集約したり、まとめを発表したりする機会を増やす。	①10段階評価を廃止し、公平で効果的な観点別評価と5段階評定の一本化を進めることができたか。 ②・「生徒による授業評価」において、生徒が基礎的・基本的な知識技能を習得し、活用することができたか。 ・家庭学習の時間を増やすことができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒の基本的な生活習慣の確立と集団生活の基本的なルール・マナーを守る意識を育む。 ②学校行事や生徒会活動を通じて生徒同士が主体的にかかわり合い相互理解を深め、活気のあるインクルーシブな学校づくりに取り組む。	①学校生活の基本的なルール・マナーを指導・支援する。 ②質の高い行事や部活動の在り方を追求し、相互理解に係る学習会や面談の機会を設定し、多様な考え方を認め合う居心地のよい学習環境をつくる。	①月ごとに遅刻者数の推移を把握し、対象者への継続的・計画的な指導を行う。 ②・生徒会活動やLHR運営の計画を明確にし、部活動入部率や活動実績の向上をめざす。 ・人権にかかわる学習会や相互理解を深める学習会を開催したり、生徒との面談の機会を設定したりする。	①・交通マナーに係る苦情や事故を減らすことができたか。 ・遅刻指導対象者を減らすことができたか。 ②・生徒が主体的に取り組み、満足した行事運営を行うことができたか。 ・前年度より部活動加入率及び活動実績の向上がみられたか。 ・人権にかかわる学習会と相互理解を深める学習会を3回以上実施することや生徒との複数回の面談の機会を活用し、充実した活動支援・教育相談を実施できたか。					
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりの個の力を生かした進路実現・自己実現の支援に取り組む。 ②体験的な学習やキャリア教育・シチズンシップ教育等の機会を充実させ、組織的な進路指導・支援を行う。	①総合的な探究の時間での進路学習や業者テスト等を計画し、計画的・効果的なキャリア教育に取り組む。 ②消費者教育・政治参加教育・防災教育の充実を図る。	①スタディーサポートや外部試験を活用・分析を行い、生徒の主体的な学習活動・進路支援につなげる。 ②夏季休業中の体験学習や防災教育の充実を図る。	①総合的な探究の時間や個別面談の機会を通じて、外部試験等のデータを活用しながら学習支援や進路支援を行うことができたか。 ②・夏季休業中の体験学習等への参加者を増やすことができたか。 ・防災意識を高める活動を計画することができたか。					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	①インクルーシブな学校づくりのために、支援学校や地域の施設や企業と連携する。 ②地域との様々な協働を模索し、生徒組織による活動発信や広報活動の充実を図る。	①地域との合同による防災訓練や衛生活動等を実施し、連携を深める。 ②地域の教育資源を活用したり、諸機関との連携を図ったり、学校行事を公開したりすることで、効果的な連携事業を模索する。	①・消防署と連携し、防災訓練・講話を実施する。 ・自治会と連携し、通学路や地域の公園等を清掃する。 ②行事などを通じて特別支援学校と交流を図り、インクルーシブな学校づくりを進める。	①・地域の防災に係る理解を深め、避難経路・避難方法の確認や災害時帰宅訓練を行うことができたか。 ・生徒組織を活用し、定期的な地域清掃を実施することができたか。 ②特別支援学校と連携し、学校行事における協働作業や交流を図るイベントを実施できたか。					
5 学校管理 学校運営	①インクルーシブ教育の視点から安心・安全な教育環境の整備をすすめる。 ②働き方改革を推進し、教職員が生徒と向き合う時間を確保することで信頼される学校づくりをめざす。	①清掃活動やごみの減量及び分別に取り組むとともに施設・備品等の修繕を進める。 ②業務の精選を行うとともに、効率のよい会議運営を行う。	①・ごみの分別指導を徹底する。 ・50周年事業の予算等を活用して施設・設備の状況に応じた修繕を行う。 ②恒例的で簡易的な業務案件について、会議の設定の仕方や協議方法を見直す。	①・ペットボトルのキャップを分別し、SDGs事業に貢献できたか。 ・施設・設備の状況が改善され、安心・安全な教育環境を整備できたか。 ②書面開催や稟議対応等により、通常の間会議時間を短縮したり、回数を減らしたりすることができたか。					